

Event (WEB予約をお願いします)

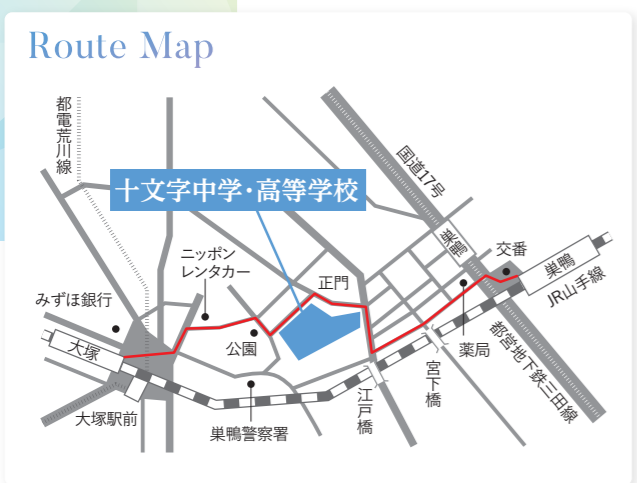
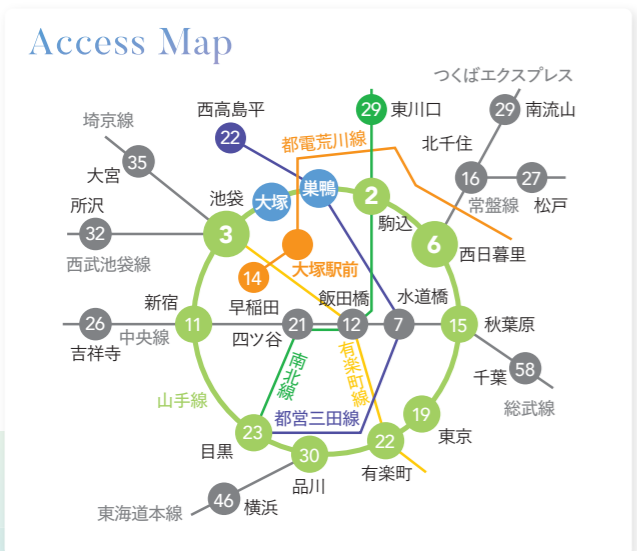
オープンスクール 6/14 10/4
 入試体験会 11/23 12/20

説明会 5/23 6/26 オンライン 7/18 8/22 9/12 9/30 イブニング 10/17
 11/7 12/5 12/23 イブニング 1/9 6年生対象 1/9 5年生以下対象

個別相談会 12/26
 塾対象説明会 6/3 9/9

桐輝祭(体育祭) 5/26
 十文字祭(文化祭) 9/19 9/20
 十文字探究DAY 1/16

個別の学校見学・相談は随時受け付けております。本校のホームページよりお申し込みください。



Information (十文字についてもっと詳しく知る)

WEBサイト <https://js.jumonji-u.ac.jp/>

生徒広報委員会SNS

X https://x.com/jumonji_ck_st

Instagram https://www.instagram.com/jumonji_ck_st

学校公式SNS

X https://x.com/jumonji_ck

Instagram https://www.instagram.com/jumonji_ck/

Facebook ID 100063700321950

LINE 中学入試向け ID @033pucet

LINE 高校入試向け ID @616mxdkg

十文字中学・高等学校

SCHOOL GUIDE 2027

自分の色を使って

想像以上の未来を描こう





十人十色

さまざまな個性が集まる十文字の
まだ色が見つかって
十文字でさまざまな色にふれ、
たちてかひある人として

カラーは、まさに十人十色。
いなくても大丈夫。
自分の色を見つけよう。
社会にはばたくために。



十文字で見つけた自分の色を使って
想像以上の未来を描こう

すべての女性が生きがいを持って 歩む社会の実現

「学びたい」と願う女性に教育の機会を与えるため設立された本校。
創立から100年を超え、35,000人を超える卒業生を輩出してきました。
自立した社会で活躍できる女性たちとともに、
よりよい社会の実現を目指します。

MISSION

— 実現すべき使命 —

**たちてかひある人 社会の役に立つ人
生きがいを持った人の育成**

十文字が目指す生徒像は創立当時から変わることなく、
生きがいを持ち社会の役に立つ女性「たちてかひある人」。
そのために「自ら考え、判断し、行動する」力を身につけ、
先行きの見えない時代を生き抜く、
柔軟性と主体性のある人材を育成します。

VALUE 1

自彊不息の精神

SELF-IMPROVEMENT

自分なりの目標を設定し
高め続ける大切さを
伝えます

→ P5

VALUE 2

安全・安心を届ける

SAFETY

のびのびとすごせる空間
安心できる施設設備を
整えます

→ P7

VISION

— 目指す未来の姿 —

**「自分らしさ」と「こだわり」を持ち、
自分色のキャリア="My Story"を描く**

先行きの見えないこれからの社会で活躍するには、
自らの個性を見つけ、発揮することが重要です。
さまざまな経験や出会いを通して自分らしい色を見つけ、
自分らしくいられる学びを通して
可能性を広げた先にあるまだ見ぬ未来、
そんな将来のキャリアを自分色で
創造しましょう。

VALUE 4

**未知への挑戦を
後押しする**

EMPOWERMENT

一歩ふみだしたい、
やってみたいを引き出し、
挑戦を後押しします

→ P11

VALUE 3

多様性を受け入れる

DIVERSITY

学校生活の中で
自分らしさを見つけ、
お互いを認め合う力を
育みます

→ P9

建学の精神

身をきたへ
心きたへて
世の中に
たちてかひある
人と生きなむ

誰かのために行動し社会に役立つことが、
自分の幸せや生きがいになる。
その志の根底に流れているのは、
いつまでも自分を高め続ける「じきょうふし自彊不息」の精神です。
創立以来脈々と受け継がれてきたこの精神をもとに、
骨太の人間教育を目指します。

校長からのメッセージ

自分の可能性を磨き、自立した女性に

1922年、学びたいと願う女性に教育の機会を与えるべきという強い
想いで本校が設立されました。女性が教育を受けることが困難な
時代において、志を持つ女性が何とかして学びたいという熱い想いで
門を叩いたのです。

しかし、約100年の時を経て、歴史の変遷とともに子どもたちの学習
観には大きな変化が生じてきました。高度経済成長で大量生産が求め
られた時代は、マニュアルを忠実に守り、効率を重視し、システムティク
に行動できる人材が求められていました。しかし、近年のように
VUCAの時代と言われるような混沌とした先の見えない時代では、発
想力や決断力が求められ、柔軟であり独創的な発想を持った人が必
要とされています。マニュアル通りに行う作業はAIが取って代わるよ
うになり、自分で考え、判断し、行動できる人材が求められているのです。

十文字が目指す教育は、本来人間が
本能的に持ち合わせている「学びたい」
と想う気持ちを刺激し、引き出す教育で
す。十文字は、生徒の主体性を伸ばし、先
の見えない社会を自分で切り拓く力を
育成しています。



十文字中学・高等学校 校長 横尾 康治

特集 1 SELF-IMPROVEMENT 自彊不息の精神

自分を鍛えることをやめない「自彊不息」の精神の下、
十文字生は自ら立てた目標に向かって、日々自分を高め続けています。

PICK UP

自彊術 体操

学校に着いたら体操服に着替えて伝統の自彊術体操を全員で行います。創立以来続く自彊術体操は「自彊不息(じきょうやまず):常に自分を鍛え続ける」という理念から生まれたものです。身体全体の調子を整え、健康づくりを基本とする考えに基づいてつくられた体操。心身のリフレッシュはもちろん、コツコツと続けることの大切さを学びます。



学習に力を入れたつ、ソフトテニス部や生徒会保健部の部長も務めるなど、

充実した日々を送っています。学校生活で大事にしている点は主に2つあります。1つは、目標を立てて努力を怠らないことです。もう1つは、周りの友人と協力し合うこと。一緒に勉強を頑張ろうと励まし合い、高め合った結果、特選コースへの選抜が叶いました。ソフトテニス部や保健部でも、よりよい活動につながるために仲間と話し合いを重ねるよう心がけています。積極的に物事に取り組む姿勢から、人間関係の大切さや自ら挑戦する姿勢を学びました。



学習、部活動、生徒会。どんな場面でも努力し協力し合う姿勢を大切に



新・高校1年生 R.Tさん



英語学習に力を入れています。テスト前には準備を万全にして満点を目指し、英検受験にもチャレンジ。自分のレベル感と苦手分野を把握し、英語力の向上に努めています。最近では、校内のスピーチコンテストへの出場を果たしました。学年全体の前に話すのは初めて



でとても緊張しましたが、「どうすれば興味を持ってもらえるか、より分かりやすく伝えられるか」を考えて発表し、無事成功を収めました。出場が決まったときにはともに喜び、練習に付き合ってくれた友人たちの存在にも大きく支えられました。

自分を振り返り準備を怠らない姿勢がコンテスト成功の鍵



新・高校2年生 R.Uさん



新・高校1年生 N.Tさん

「全国優勝」を目指す チームを一つに背中を見せて

中学サッカー部のキャプテンとして、仲間とともに全国優勝を目指して練習に励んできました。日々心がけているのは、自ら努力する姿勢を見せてチームをリードすること。また、部員をまとめるだけでなく、一人ひとりの成長につながるようにも働きかけています。キャプテンとして振る舞う中で壁にぶつかることもありましたが、努力を重ねるうちに、チームの雰囲気も変化していきました。部活動を通して、積極性が身についたと感じます。十文字を志望する皆さんにも、目標を持って自分を高めていけば必ず成長できると伝えたいです。



新・高校3年生 M.Yさん

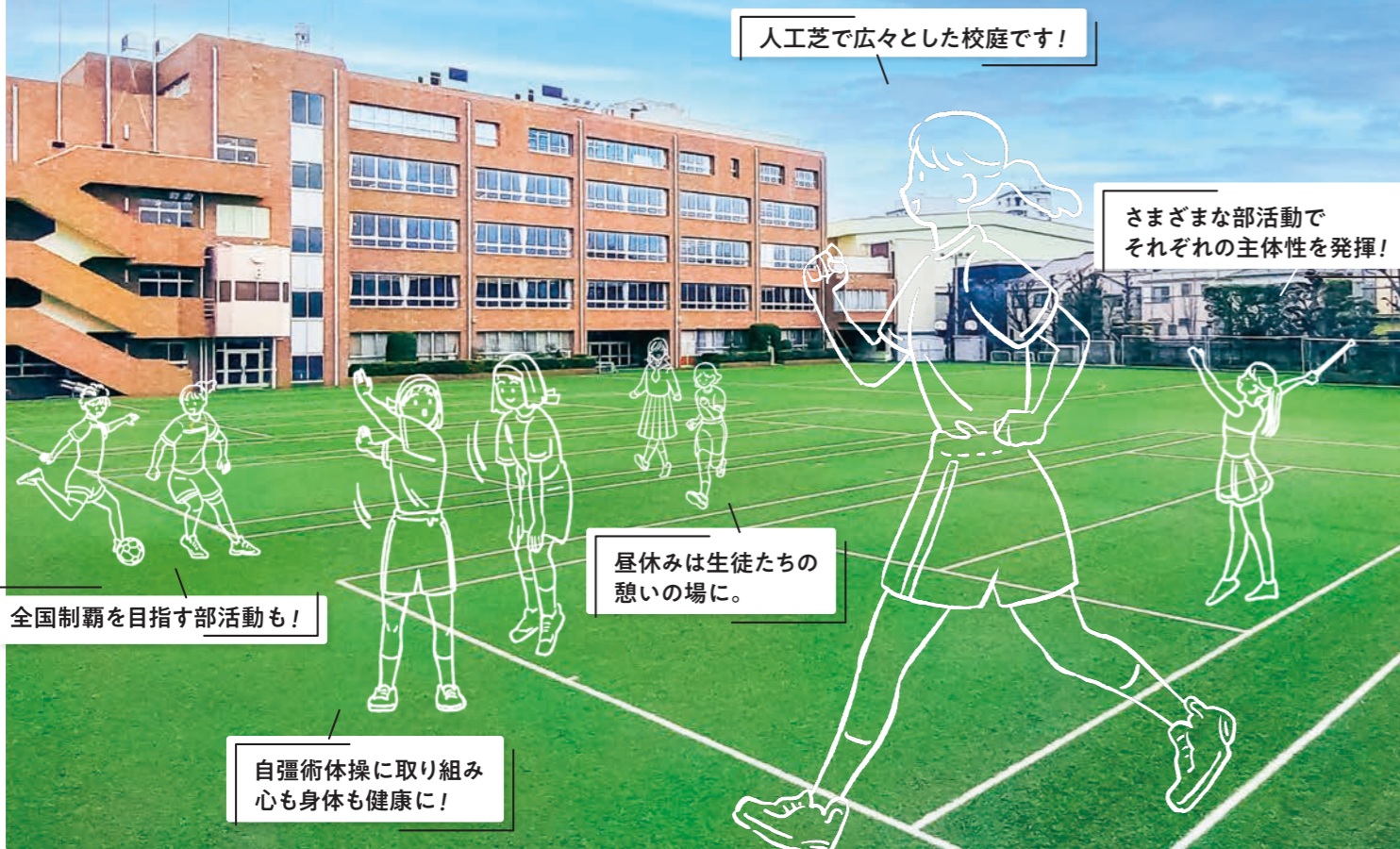
徹底した時間管理と日々の積み重ねで確かな自信と実力を

バトン・ピアノ・勉強と、3足のわらじを履く日々です。最近ではバトンの演技の幅を広げるために、小学生の時に習っていたバレエも再開。全国大会出場を狙って、技術だけでなく表現力も伸ばそうと頑張っています。すべてをバランスよく両立させるコツは、小さな努力を重ねること。通学時間や休み時間も利用して勉強し、バトンやピアノでは地道に練習する姿勢を大切にしています。こうした日々の積み重ねで自分に自信が持てるようになり、目標に近づいているという実感も得られました。



特集 **2** SAFETY
安全・安心な空間

生徒の多様な活動を可能にする
空間・施設設備が整っています。



人工芝で広々とした校庭です!

さまざまな部活動で
それぞれの主体性を発揮!

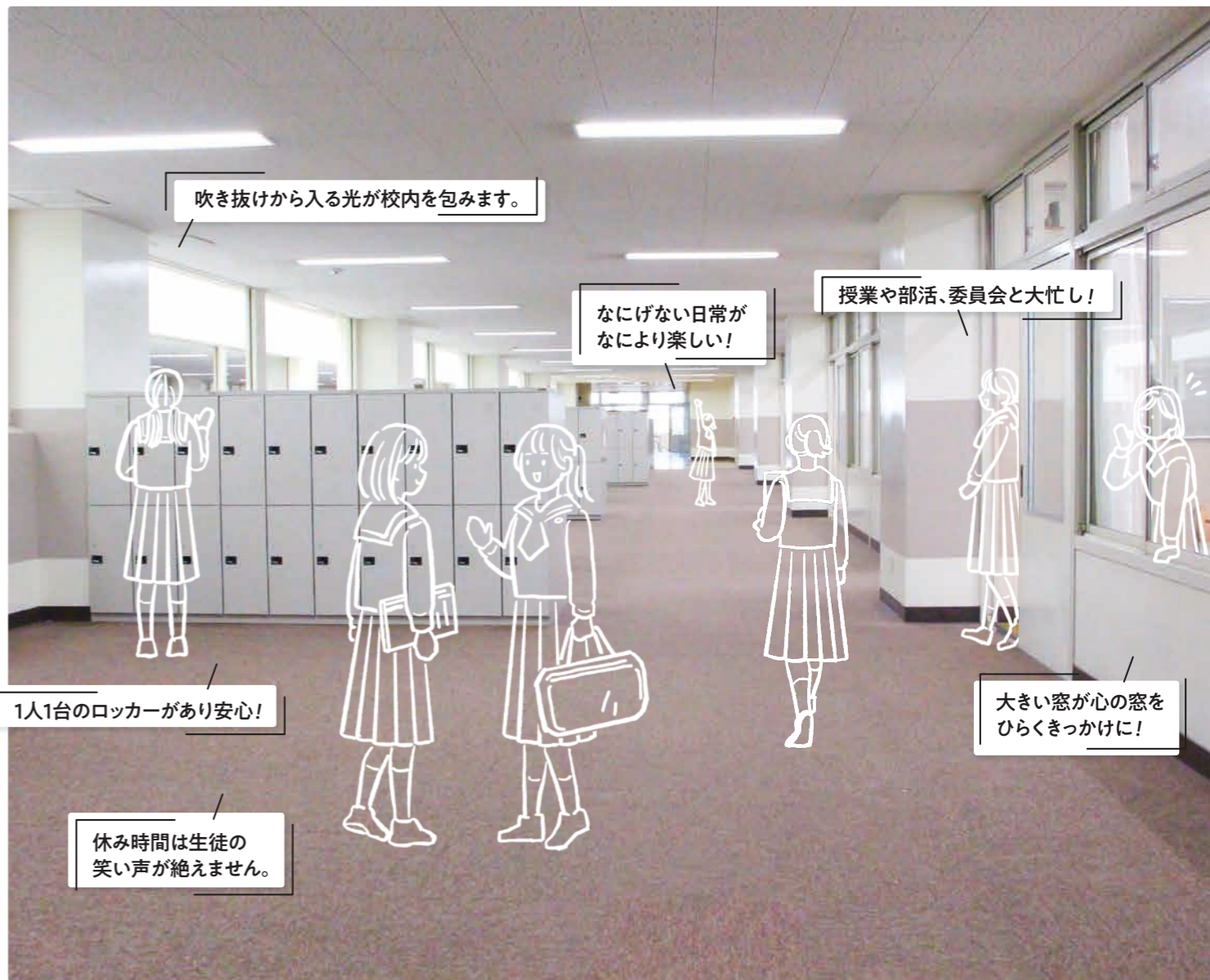
昼休みは生徒たちの
憩いの場に。

全国制覇を目指す部活動も!

自彊術体操に取り組み
心も身体も健康に!

グラウンド

自彊術体操や部活動など、十文字生の活力を育む人工芝の校庭。
十文字祭(文化祭)では吹奏楽部やパトンの演技披露が行われます。また、地震などの緊急時には安全な避難場所にもなります。



吹き抜けから入る光が校内を包みます。

なにげない日常が
なにより楽しい!

授業や部活、委員会と大忙し!

1人1台のロッカーがあり安心!

大きい窓が心の窓を
ひらくきっかけに!

休み時間は生徒の
笑い声が絶えません。

教室前廊下

大きな窓と広い廊下が特徴の教室前。心の垣根をなくし、豊かな人間関係を結んでほしい。外に開かれた視点を持つことで自己を確立し、能力を発揮しながら他者と歩ける協調性を育んでほしい。そんなコンセプトが詰まっています。



カフェテリア

大きな記念樹のある明るい前庭に面していて300席あります。昼食はランチ・丼・麺・お弁当など、400円前後のメニューをどの学年も毎日利用できるため、働く保護者の方もご安心いただけます。

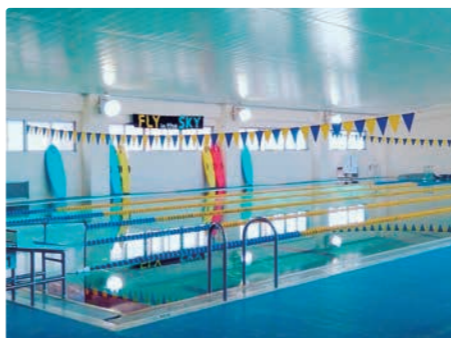


図書館

蔵書数81,289冊(2026年3月現在)を有する十文字の図書館では、読書マラソン、読書講演会などさまざまな図書館教育に取り組んでいます。

プール

周辺高所からの視線遮断に配慮した屋内プール。授業ではレベルごとのレーンにわかれ、自分のペースで泳ぐことができます。水泳部ではライフセービングや十文字祭(文化祭)でのダンススイミングなど、競泳以外にも積極的に活動しています。



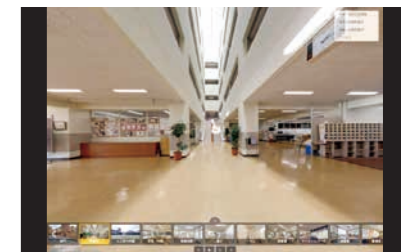
女子校ならではのセキュリティ

生徒、来客の出入り口は正面のみで、入り口には職員が常駐しセキュリティ管理に努めるとともに、生徒の登下校の時刻を記録し、保護者へメール配信するシステムを導入しています。



360°バーチャルツアー体験!

本校のホームページにて校内の施設・設備をバーチャル体験できます。施設を360°見渡すことができるだけでなく、各施設にてどのような活動が行われているのかわかることもできますので、ぜひご覧ください。



3 DIVERSITY 多様なスタイル

学校生活の中で自分らしさを見つけ 挑戦を続ける生徒たち。 それぞれの十文字生のスタイルをみてみよう。

Style A



This is My Style
自分と向き合うことを大切に
自分と逃げずに向き合い、成長することを心がけています。日々内面を磨き、周りの友達や先生に信頼されるような人になりたいです。

夏服・半袖

白を基調としたセーラー服で、清潔感のある装い。暑い夏は半袖で爽やかな着こなしに。

Style B



This is My Style
何事にも挑戦する意識
どんなに小さなことでも全力で挑戦し、努力することを大事にしています。小テスト一つにも、努力を怠りません。

夏服・長袖

春や秋にもびつりの長袖の夏服。気候やその日の気分に合わせて、制服選びを楽しんでいます。

Style C



This is My Style
時間の使い方に気を配る
部活動や勉強、生徒広報委員などやりたいことが盛りだくさん。テレビやスマートフォンの見過ぎに注意し、時間を無駄にしないよう心がけています。

冬服

冬はシックな紺色のセーラー服。寒い日も魅力たっぷりの制服で元気に登校しましょう。

Style D



This is My Style
整った生活リズムで過ごす
授業中はしっかり内容を理解するようにし、家では宿題を中心に学習。睡眠時間をしっかり確保でき、良いコンディションで過ごしています。

体操服

運動が得意、勉強が得意、さまざまな生徒が元気に活動しています。それぞれの得意を生かして輝こう！

Style E



This is My Style
サッカーと勉強の両立
部活動が忙しく、自宅学習の時間があまり取れない日でも、授業内容はその日のうちに必ず復習するようにしています。

ポロシャツ

暑い季節でもさらっと着用でき、洗濯しやすいのもポイント。爽やかなブルーの色が夏にぴったり！

PICK UP パンツスタイル

生徒たちが十文字の誇りとして最も大切にしている制服に対して、「スカートの他に選択肢があってもよいのではないか」という生徒の疑問をきっかけに、2021年度中学中央委員が中心となり、制服パンツスタイル導入に向けて話し合いを重ねてきました。パンツスタイルについてさまざまな調査を重ねるとともにアンケートを実施し、「生徒自身の意志で選択できる」「十文字の伝統を残す」「多様性」の3つの柱を体現したパンツスタイルが実現しました。



十文字生の One Day

登校 8:15

じきょうじゅつ
自彊術体操
学校に着いたら体操服に着替えて伝統の自彊術体操を全員で行います。

午前の授業 8:45
↓
12:15
土曜【4限まで】

昼休み 12:15
↓
13:00

午後の授業 13:00
↓
14:40
月・水【6時限】
15:35
火・木・金【7時限】

下校時刻 16:30
平日
14:00
土曜

最終下校 18:00
【4月~10月】
17:30
【11月~3月】

4 EMPOWERMENT 未知・可能性への挑戦

十文字生は入学後、さまざまな活動と体験の中で自らの未知の可能性へ挑戦しています。

体育部

桐輝祭(体育祭)の企画、準備、当日の運営を生徒主体で行っています。私は高校部長として、中高全体をまとめました。新しいスタイルの応援団や新競技の導入、Tシャツの素材変更などさまざまなことに挑戦し、桐輝祭を今まで以上に盛り上げることができました。



当日は手作りのメガホンで沢山盛り上げました!

SCHOOL FESTIVAL



圧巻の表紙!

自分から運営に関わるようにしました

パンフレットやTシャツもこだわって作りました!



文化部

やりたいと思ったことは妥協せず、行動に移すことを大切にしています。十文字祭(文化祭)の企画や計画に携わったときには、自分の考えを他の生徒に分かりやすく伝えるために、文章化することを意識しました。結果、スムーズに十文字祭を運営できたと思います。

探究DAY

各学年でいろいろなテーマについて調べて考察し、その成果を「十文字探究DAY」で発表します。私はカタツムリの食害を防ぐ方法について研究し、最優秀賞をいただきました。日頃から幅広く興味を持ち、知らない分野についても自分なりに理解するよう心がけています。

調べた内容はノートにまとめ、いつでも見返せるようにしています!



研究に協力してくれたカタツムリ

RESEARCH!



大切な表彰状です!

STUDY ABROAD



たくさん英語で話しました!

オーストラリアで過ごした日々は宝物です

記念に買ったカンガルーのぬいぐるみです。見るたびに現地での経験を思い出します。

留学

オーストラリアに3カ月間留学しました。留学中は、自信がなくても話してみる、やってみることを意識していました。帰国してからは、駅で困っている外国の方の助けをしたことも。日常生活で留学経験を活かしたときはとても嬉しいですね。

詳しい行事や部活動に関する説明は DATA BOOK 2027に記載しております。ぜひご覧ください。



行事予定月や部活動の活動日・実績等の詳細は公式WEBページへ。入試やイベント情報も発信しています。



下記の活動の他に、未知・可能性へ挑戦している生徒が多くいます。P13以降で自分の興味がある活動と体験を探してみましょう。

自分色の未来 -My Story- を描く

6年間の学び

主体性を土台として価値観・興味関心を深め、
自分らしい未来を描くための力を身につける

これからの人生の土台となる、6年間の中学高校生活。
それぞれの学年に合った学びを通し、人生を豊かにする経験を重ねます。
基礎づくりから応用力の育成まで、自分らしい未来を描くために
ステップアップできる環境が十文字にはあります。

— 十文字ラーニングスタイル —
自由に組み合わせ、学びをデザイン

1. **主体性** を発揮する
2. 自分のキャリアを **創造** する
3. 高校コース制で **可能性** を広げる
4. 目標や好奇心に応じ、**共に創る**

共創性 -P21

— Advanced Program —

目標や好奇心に応じて 選択できるプログラムを
多数用意。他者との共創 から生きがいや強みを
見つけ、さらなる実践に つなげます。

地域連携活動

地域創生や
ボランティア活動

個別受験指導

多様な入試にも
複数人で指導

クラブ・委員会

約40種の部活・同好会
生徒が協働し
学校運営

可能性 -P19

— Active & Focused Learning —

コース制により、さらに個性を伸ばす教育を展開。
こだわりを持ちながら可能性を広げます。

教養講座

企業や大学と連携し
本質を突く
学びを提供

グローバル

海外大連携による
独自プログラム

特選(人文・理数)コース

高校からコース選択

リベラルアーツコース

自己発信コース

教科を通じた学び

学ぶ楽しさを知り、深く学ぶ実践の機会を用意。
能動的な学びから、自立した学習者を目指します。

講習・補習

基礎から応用、
入試にも対応した
約200講座

創造性 -P17

— Career Design —

まだ見ぬ将来を創造するため、各学年に応じた進路
探究を展開。自由な発想で自分色の未来を描きます。

主体性 -P15

— Stand Up Program —

自ら考え、自ら選択し行動することで、大きな達成感と自立につながるでしょう。挑戦を重ね、たちてかひある人の土台をつくります。

自彊不息の精神 / 安全・安心な空間 / 多様なスタイル / 未知・可能性への挑戦

01 KEYWORD 主体性

— Stand Up Program —

「自分色を思う存分発揮できる」
 「互いに認め合う仲間がいるから、第一歩をふみだせる」
 そんな環境が十文字にはあります。互いに試行錯誤し、
 創りあげた未来は想像以上の未来につながることでしょ。う。
ものがたり
 この学校の主人公はあなたです。



自分で考えて、
 自分で挑戦したい。
 本物の探究者。
 目指すは、

3つの POINT

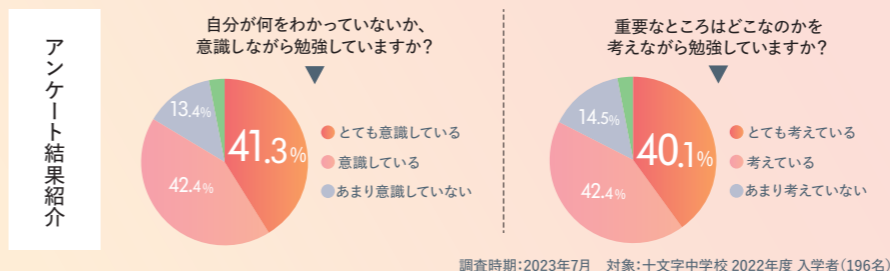
- POINT 創造する楽しさを知り、世界を広げます。
- POINT 実現性にこだわりながら、粘り強く取り組みます。
- POINT 自己実現のため、自己調整力を身につけます。

TOPICS

得意・不得意の
 差が出やすい「数学」を、
 自ら学ぶ

数学個別最適化学習プログラム J-PALM (ジェーパル)

得意不得意の差が出やすい数学の授業では、独自の個別最適化学習プログラム J-PALMを導入し、学習をサポート。生徒一人ひとりの理解度・習得度に合わせた学習を通して、「確かな学力」、「自己調整学習力」、「数学的思考力」の向上を目指します。一斉授業で新しい概念を学んだ後のJ-PALMタイムでは、個々に学習計画をたて、教科書や動画、ICT (Libry) を活用し自由進度で学習を進めていきます。一人で集中して取り組んだり、友人や先生に相談したり、学びかたも自由です。得意な生徒はどんどん学びを進めたり深めたりすることが可能で、苦手意識のある生徒は、一つひとつじっくりと納得しながら基礎学力を習得していくことも可能です。先生は、一人ひとりの学習状況をLibryデータ・チェックテスト・ノート等で把握し、ファシリテーターとして個々に応じた学習支援を行っています。さらに、J-PALMでは数学探究の時間を充実させています。日常に存在する課題を数学的な視点で探究し、発表を行います。数学が得意な生徒も苦手な生徒も、数学を楽しみながら学べるよう工夫しています。



#01

Case Study

「自分たちで創る」学校行事は
 主体性を最大限発揮する場



各行事では、中心となって行事の企画・運営をする実行委員がいます。文化祭でリーダーとなる生徒は体育祭の時はフォロワーになるなど、一人ひとりが自分の得意を活かして主体的に活動します。さらに、全校生徒が一丸となって行事を盛り上げていきます。たくさんの涙とたくさんの笑顔に満ちあふれた青春の1ページとなる時間です。

学校生活をより良くするために主体的に活動する



毎日長い時間を過ごす学校での生活は、生徒の人生そのもの。身近な学校生活を自分たちの力でより良くしていく経験は、将来ソーシャルチェンジャーとなっていこうとする生徒たちにとって貴重な経験です。十文字には、以前から生徒会を中心として制服へのスラックス導入をはじめとした多くの活動実績がありますが、2023年度は軽食自販機の導入の実現に加え、生徒心得の改訂に向けて議論が進みました。

#02

Case Study

高める
 「タスクノート」
 計画力と実行力を



担当が一人ひとりにコメントを返します。

学校の年間行事予定が入った「タスクノート」。宿題や提出物の期限、明日の持ち物、小テストの予定などを書き込み、計画的で充実した日々を過ごすことができます。学年末にはたくさんの思い出と自分自身の成長が詰まった、世界に1冊の手帳となっていることでしょう。

VOICE



将来を見据えた学習計画を立て、苦しい数学が得意になりました！
 高校1年生 A.L.さん

小学生の頃の算数は、先生が淡々と授業を進めていき、質問することへ抵抗感があった、宿題を半泣きでやるくらい算数が苦手でした。そんな自分を変えてくれたのがJ-PALMです。J-PALMは自分の理解度に合わせて問題を解き進めることができる一方、自ら計画を立てて学習を進めていく必要があります。中学1年生のときは、学習計画を立てることが初めてだったため、未来を見据えることに難しさを感じました。しかし、徐々に上手になり問題集を何周も解けるように！入学当初は質問することに抵抗があったものの、気付けばすぐに質問に行くようになり、今では数学が得意になりました。

#03

Case Study

すぐそばにいる同級生と
 価値観を共有し、
 お互いの挑戦を応援する

お互いの頑張りや思考を共有する



好きなことを好きと言う。頑張っている人を認め、応援する。互いに共感しながらも、自分が大事にしていることを大事にし続ける。そんな雰囲気づくりを大切にしている十文字では、互いの価値観を共有する場が多く設定されています。また、自分の考えを英語で発表する機会や、小さな頑張りや思考を共有する制度を設けることで、生徒たちは自信をつけ次のステップに挑戦していきます。

02 創造性

KEYWORD — Career Design —

まだ見ぬ将来を創造するため、
各学年に応じた進路探究を展開。
自由な発想で
自分色の未来を描きます。



自由に想像し、自由に表現する。
枠にとらわれずに表現することが、
まだ見ぬ未来の創造につながる。

I期 自ら行動できる生徒へ		II期 自ら活躍できる生徒へ		III期 自立して社会で活躍できる生徒へ	
中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
他者の生き方を学び、自己の価値観を広げる	実現したい未来を創造し将来の視野を広げる	社会課題と向き合い自身と社会との関わり方を見出す	自己理解を深め学びたい学問領域を見出す	学びたい学問領域をより具体化する	探究の学びを活かして進路を実現する
探究の具体例					
●人間探究 —ロールモデル—	●企業インターン型探究 —コーポレートアクセス—	●社会課題解決型探究 —ソーシャルチェンジ—	●学問探究(特選・リベラルアーツ) ●マイプロジェクト探究(自己発信) ●共創探究(自己発信)	●マイテーマ探究(特選・リベラルアーツ) ●マイプロジェクト探究(自己発信) ●共創探究(自己発信)	

Case Study #02

他者と関わる中で自分を理解し、
社会に貢献する一歩をふみだす

中学1年生 人間探究 —ロールモデル—



人の一生を読み解き、表現する中で「人間が大切にしていること」を探究。他者の生き方を学び、自己の価値観を広げます。

中学2年生 企業インターン型探究 —コーポレートアクセス—



「企業とともに未来をつくる」ため、教室インターンシップを体験。実現したい未来を創造し、将来の視野を広げます。

中学3年生 社会課題解決型探究 —ソーシャルチェンジ—



身の回りの社会問題を見つけ出し、彼らを助け、笑顔にする企画を考える中で、社会に対する自身の関わり方を見出します。

Case Study #01

第4回 十文字探究DAY 2027年1月16日

あなたの声が進路の知になる。

十文字探究発表の祭典「十文字探究DAY」。1・2学期に取り組んできた探究学習の成果を中1～高2の全生徒が発表します。学年を超えて共有し、認め合い、刺激し合うことを目的として実施されている十文字探究DAY。3年目の開催となった昨年度は、「あなたの声が進路の知になる。『聞く』から『対話』へ。学びの一步を踏み出そう!」をテーマに開催しました。キャストとして聴講する生徒も他者の発表に関心を持ち、自分なりの意見や質問をしている姿が印象的でした。



Case Study #03

自分の価値観と学問をつなげ、
より高いレベルで実践を重ねる

高校1年生 特選・リベラルアーツ 学問探究 —アカデミックジャーニー—



興味関心のある分野を模索し、チームでさらに探究。新たな問いに出会う中で、自己理解を深め、学びたい学問領域を見出します。

高校2年生 特選・リベラルアーツ マイテーマ探究



自分の関心のある分野において「正解のない問い」を持ち、多角的な視点から探究。学びたい学問領域をより具体化します。

高校1・2・3年生 自己発信コース コアプロジェクト、 マイプロジェクト探究/ 共創探究



自分の価値観や興味関心である「芯〜Core〜」にとことん向き合い、他者と共創する中で、生きがいを持ち、社会で生き抜く力を育みます。

03 可能性

KEYWORD — Active & Focused Learning —

十文字高校では3つのコース制により、より個性を伸ばす教育に取り組んでいます。特色が異なるそれぞれのコースで、自分らしくいられる学びを通じ、こだわりを持ちながら可能性を広げ、将来のキャリア=自分色の“My Story”を描きます。



自由に何かを選ぶ。
それは決断すること。
未来を決める私は、
可能性、無限大。

高校3コース概要	目標
特選 (人文・理数) コース	実践的な学びを通じ、上位難関大学進学により、 自己実現 を目指します。
自己発信 コース	自分の「芯~Core~」を育み、 生きがい を持って社会で生き抜く力を養います。
リベラルアーツ コース	幅広い活動 を通して、自らの進路を切り拓くための 汎用的な思考力 を育てます。

特選(人文・理数)コース

より実践的な学びにつなげる
高校入学時から文・理にわかれることで、

高校入学時に、人文特選コース・理数特選コースにわかれることで、難関私立大・国公立大の一般選抜で勝負できる学力を身につけます。1・2年次で基礎、3年次からは演習科目と、3年間を通し実践的な授業を展開します。



PICK UP 1
学びを深める“場”のデザイン

勉強方法を共有し合う「Viva☆リボ」や、朝やオンラインの自習を通じ「前のめりに」学習と向き合う“学びの場づくり”を大切にしています。学習アドバイスを学年を超えて共有。長期休暇中の勉強合宿なども行い、高め合う集団を形成しています。



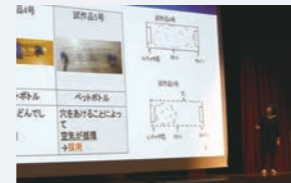
PICK UP 2
博物館・研究所見学

日々の学びと社会との関わりに目を向けることも重視し、博物館・研究所見学なども行っています。授業で得た知識・技能を活用、実学として実践する場を体感することで、大学進学その先を見据えた内発的動機付けを高めます。



PICK UP 3
学問探究・マイテーマ探究

学びに前のめりな生徒たちは、探究も創造的に活動しています。高1は、自らの興味関心のある学問分野を模索し理解する探究、高2は各自テーマを設定し深めるマイテーマ探究に挑戦。研究室への訪問や独自の実験手法の確立など自らの問いと大学の研究を掛け合わせ、主体的に学んでいます。



自己発信コース

自分の“芯”を育み、探究活動で実践を重ね、
生きる力を養う

一人ひとりが自分の「好きなこと」「得意なこと」「大切なこと」を見出す機会を創り、「芯~Core~」を育む本コース。週4時間の総合的な探究の時間とネイティブ教員による英語の授業で、他者と共創し、実践する力を磨きます。



PICK UP 1
週4~5時間かけ
Coreを育む

週4時間のJ-Lab. (総合的な探究の時間)と週1時間のJ-Skill. (探究的な学びのスキル習得)により、自分の「芯~Core~」を育みます。J-Lab.は高校3年次まで続き、プロジェクトの推進や大学入試まで一貫して続いています。



PICK UP 2
マイプロジェクト探究

自己発信コースの核となるマイプロジェクト探究。自身のモヤモヤやワクワクから生まれた問い(テーマ)を育て、課題解決や真理を追求するプロジェクトに落とし込みます。高校3年次にはその成果を英語論文にまとめ、英語でのプレゼンを行います。



PICK UP 3
共創探究 (地域・グローバル)

創造意欲を持ち挑戦し続ける姿勢に加え、よりよいものを見極め、合意形成によってさまざまな問題を乗り越えるため、地域の課題解決やグローバルな視点での探究にも力をいれています。これまでに巣鴨駅前商店街活性化プロジェクトなどを実施。修学旅行は台湾で学習します。



リベラルアーツコース

新たな価値を創造する
幅広く学ぶことで将来の可能性を広げ、

生徒一人ひとりが自分らしい未来を描けるよう、可能性を広げるカリキュラムが特徴的です。選択科目だけでなく、希望制のプログラムも多数用意されており、幅広い知識だけでなく専門性も高められるよう設計されています。



PICK UP 1
選択科目が多く
幅広い進路に対応

高校1年次は幅広く学び、高校2年次からは選択科目が約半分に減ります。その後のグループにて活動を振り返り「自分たちなら何が出来るか」を探究と学習の目標にあわせてカリキュラムを設計できます。



PICK UP 2
社会問題スタディーツアー

SDGsに取り組む都内の複数企業から1社選択し、実際の活動を見学。その後、グループにて活動を振り返り「自分たちなら何が出来るか」を探究することで、課題解決方法を追求し、実践的な行動力を高めます。



PICK UP 3
グローバル交流プログラム

日本に留学している大学生・院生と英語で探究活動を行います。社会が抱える問題について、世界各国の人々と考えを共有することで価値観を広げるとともに、答えのない問いを深く探究することで、進路・学問領域の発掘につなげます。



共創性

KEYWORD 04 — Advanced Program —

誰にでもある小さな主体性。その気持ちを大切に
 一歩ふみだし、他者とともに未来を創ることが、
 新たな挑戦の原動力になります。
 十文字では、学校だからこそできる選択と交流を通して、
 より広い視野を持ち、新しい世界へ飛び立つ生徒を育成します。



世界の窓と
 社会の扉が目の前に。
 さあ、未来をひらく
 挑戦を始めよう。

3つのPOINT

- POINT 自己の価値観を大切に、新たな一歩を
ふみだす機会を創ります。
- POINT 他者の意見や経験に耳を傾け、視野を広げます。
- POINT 校外の人々と交流・貢献し、自らの価値を高めます。

#01 学校外とのコラボレーション

学校外の人々と交流し、「自由な発想力」を開放する

視野を広げ、価値観を共有する海外交流 台湾国立嘉義女子高級中学 × JUMONJI × 台湾實踐大学

アジア圏の国との交流の中から、互いの「違い」や「同じ」を感じることは、新たな発見につながります。台湾は時差の壁がほとんどないので、コロナ禍で生徒たちがスキルアップしたオンラインを用いることで、直接かつ頻りに交流をすることもできます。国を越えた同じ年代の仲間たちと共に何かを作り上げていく経験を重ねる楽しさは、きっと将来の役に立つことでしょう。



台湾国立嘉義女子高級中学との交流



台湾の實踐大学の先生方による特別講義

自らのアイデアで社会に貢献する 豊島区 × JUMONJI × 企業

生徒自ら創造したアイデアを活かし、校外の人々へ貢献する。この豊島区(巣鴨・大塚)には、そんな生徒たちの活動を温かくかえ、ともに作り上げていただける環境があります。伝統との共存・文化の継承・子どもたちの幸せなど、街の課題解決にむけて生徒が挑戦しています。地域・街の人びとと交流することで、社会を知り、自分たちには何ができるのかを考えます。



豊島区の課題を共に解決!地域貢献メッセへの出展



Otsuka SDGs Xmas (子ども食堂)

#02 学びのサポート

主体的学習者を後押しする
 プログラムの提供

長期休業中の教養講座

学びたいという意欲を高め、視野を広げるための教養講座を校内外で、
 大学や企業と連携して開催しています。

2025年
 夏期教養講座
 の一例

- 看護学部でのシミュレーションラボ 東邦大学
- 医療体験 順天堂大学
- 心理学とはどのような学問か 成城大学
- プログラミングの楽しさ 中央大学
- 株の力 三菱UFJモルガン・スタンレー証券
- 保険会社×理系 東京海上ホールディングス
- イタリアの留学生に書道を教えよう 日伊協会
- IELTS短期集中講座 留学情報館
- LEGOって楽しい! 十文字中学・高等学校

講習・補習

放課後、春期・夏期・冬期休暇中などに、さまざまなレベルの講習・補習を開講しています。受験に直結する演習、英検取得を目指す講習、復習メインの基礎固め、学びなおし(リメディアル)を中心とした指名補習など。指名補習以外は希望制のため、自分のスケジュールや目標に合わせて学習することができます。

#03 グローバル教育

異文化を学び、生活することで
 こころと体で「世界」を学ぶ

海外留学プログラム

本校独自の「十文字中学・高等学校 グローバルプログラム」があり、希望者を対象に短期～長期の留学をすることができます。また、十文字では、日常的に海外からの長期留学生を受け入れており、学内でともに生活を送り学ぶ機会もあります。さらに、十文字の生活の中で自信を身につけ、自分の興味関心に従って海外で何をしたいのかを考え、その実現のために自分で留学先を見つけ、短期～長期の留学をして力をつけていく生徒たちも多くなります。



	中学3年生	高校1年生	高校2年生
カナダ	海外研修(11日間)		
オーストラリア		短期留学(3カ月) 長期留学(1年)	
アメリカ		ワシントン大学サマープログラム(24日間)	
台湾		アジア・サマーユニバーシティ[約2週間]	修学旅行 (自己発信コース)
マレーシア			マレーシア工科大学プログラム(約2週間)

GIP (Global Innovation Program)導入

進路の可能性を広げるため、世界14カ国500大学以上の進学が目指せるGIP (Global Innovation Program)へ加盟しています。海外大への推薦制度や進学のための試験対策など、世界へ飛び立つ進路選択を後押ししています。

協定大学の例

- The University of Manchester
- The University of Western Australia
- The University of Auckland
- Arizona State University
- Heriot-Watt University Malaysia

2026年度入試
 国立大+大学校+医学部医学科+
 早慶上理+GMARCH+立命館大
 合格者数

77人

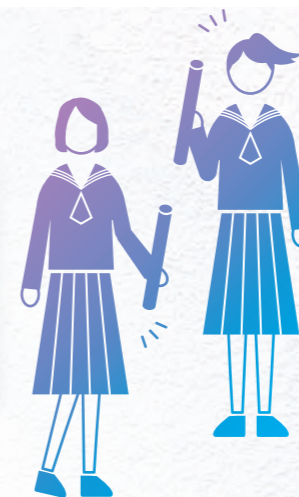


海外大合格者数

4人

生徒一人ひとりが自分の将来の夢を実現すべく、より高い目標を設定し、次のステップに進んでいきます。近年、理工系に進学する生徒も増え続けています。

創立以来104年の歴史を持つ十文字では、多くの卒業生を輩出しています。街で制服姿で本校生が歩いていると、年配の卒業生から声をかけられることもあります。変わらぬ伝統を共有する瞬間です。



十文字高校
 卒業生数

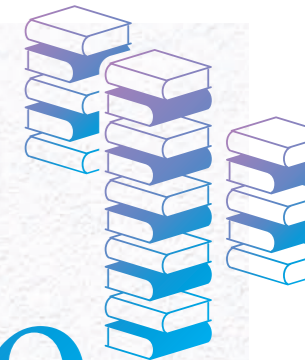
35,390人

本校の柱となる探究活動の拠点となる図書館には、司書教諭1名・司書2名が常駐。

図書館蔵書数

81,289冊

※2026年3月末現在



2026年度入試
 大学進学者に占める
 理工系の割合

35.4%



自分の興味・関心に従って、中学1年から自由に講座をとり学びを深めていくことができます。



2025年度
 長期休暇中に実施された
 講座数(中・高)

166講座

※1講座：基本80分×4日

数字で見る JUM ONJI STYLE

自ら選択し、実現した進路にむかってはばたいていく卒業生たち。それぞれの "My Story" を胸に、「たちてかひある人と生きなむ」ための挑戦が続いていきます。

自習室&図書館
 個別ブース席数

111席

学習スタイルもさまざま。自分ひとりで集中して学びたい時には、個別ブース席は最適。長期休暇中も自由に利用できます。



連携協定を締結・系列大学数
 (2026年4月時点)

10校

- 東邦大 成城大
- 東洋大 台湾実践大
- 順天堂大 十文字学園女子大
- 日本女子大 東京女子体育大
- 東京薬科大 University of Washington

建学の精神にある「世の中にたちてかひある人」すなわち、将来世の中の役に立つ人として生きていくため、医療従事者をめざす生徒が多くいます。

直近5年間の
 医歯薬獣医看護系への進学者数

164人



ADVICE 今春卒業した先輩の声

生徒主体のカリキュラムで
 世界に羽ばたく力を養う



セーラー服に憧れ、利便性の高い山手線沿線の土地や校風などに惹かれ、十文字に進学しました。学校の学びで特に印象に残っているのは、高校2・3年生の2年間で取り組んだ世界史学習のカリキュラムです。インプットからアウトプットにつながる授業がメインで、3年生の夏頃からは大学入試の過去問が課題となりました。そしてその解説は生徒が担当。思考力や表現力、論述力が養われ、単なる知識の習得に留まらない、深い学びを得ました。また、在校中は英語学習にも力を入れ、2年生までに英検2級・準1級を取得。英検取得を通して身につけた英語力は、受験勉強にも活かすことができました。大学では複合文化論系に進み、さまざまな国の文化・経済・政治を互いに関連づけて多角的に学びたいと考えています。プログラミングにも興味があるので、ゆくゆくはIT関係などの外資系大企業に就職し、国際的な舞台で活躍できればうれしいです。

Y.Sさん 早稲田大学 文化構想学部 文化構想学科 進学

社会とつながる探究活動から
 持続可能な森林づくりの担い手に

高校では発表スキルを磨きたいと考え、自己発信コースのある十文字に進学しました。自分で調べるタイプの学習が好きで、人に分かりやすく伝えるスキルを身につけたかった私にとって、課題解決型学習や授業内の発表が多い自己発信コースは魅力的な学びの場でした。特に印象的だったのは、週4時間の探究学習です。ビジネスプラングランプリや地域活性化プロジェクト、マイテーマ探究などを通して行動力や協働力を高め、社会との関わり方も学べました。マイテーマ探究では「生き物の特性」を探究のテーマに設定。植物の生育や実験に取り組むほか、校外の探究プログラムにも参加しました。多くの企業が参加する国際会議での成果発表など貴重な経験ができ、とてもうれしく思っています。こうした活動が進路選択に結びつき、大学では森林資源の新たな活用方法について学ぶ予定です。ゆくゆくは森林業者として、次世代につながる環境づくりに携わりたいと考えています。

R.Iさん 山形大学 農学部 食料生命環境学科 進学



MESSAGE

from OG

十文字で成長し、自分の色を見つけた卒業生たち。
偏見や固定観念にとらわれず、活躍するための秘訣を聞きました。

自分らしさを育んだ 十文字での3年間



野口 勇弥さん
成城大学 文芸学部 専任講師 /
スポーツとジェンダー平等 国際センター 副センター長
筑波大学 出身

幼 いころからサッカーに親しんできた私にとって、十文字での3年間は、自分の可能性を大きく広げる期間でした。高校入学時に、①日本代表入り、②全国大会出場、③筑波大学への現役合格という3つの目標掲げました。挑戦は容易ではありませんでしたが、「やり抜く力」を育ててくれたのが十文字です。通学時間は参考書を開き、昼休みにはひたすらボールを蹴っていました。朝練も一日も欠かさず続けた日々は、自問自答の精神そのものだったと思います。受験に不安を感じたとき、先生からかけられた「現役の学力は受験当日まで伸びる。最後まであきらめない」という言葉は、今も心に残っています。先生方の励ましに支えられながら努力を重ね、念願の筑波大学への現役合格ができました。大学では男女共学の環境に身を置き、高校とは異なる新しい価値観や学びに触れました。その中で、十文字での生活が、自分の好きなことに全力で取り組む、自分らしさを自然に表現できる場だったことに改めて気づきました。サッカーに情熱を注ぎ、仲間と支えられながら過ごした日々は、今思い返しても貴重な時間だったと思います。大学卒業後は、アメリカで経営学修士(MBA)を取得し、スウェーデンでプロ女子サッカー選手としてプレーしました。海外でジェンダーに関する意識やスポーツ環境の違いに触れたことがその後の進路に結びついています。現在は、スポーツ庁の事業に携わり、ASEAN11ヶ国と協働してジェンダー平等を推進する取り組みを行っています。各国で女性がスポーツを続けられない背景などを調査し、組織におけるジェンダー平等のあり方について、奔走・助言する国際協力にも取り組んでいます。自分らしさを大切に、努力を重ねた高校時代、海外での挑戦や研究、世界各国の女性と自分らしくいられる環境の実現に向けた実践につながっています。



城宝 薫さん
株式会社テーパーブルクロス 代表取締役 CEO
立教大学 出身

勇気を出して挑戦。 新たな世界を広げ夢を叶える。

大 学3年生の時に株式会社テーパーブルクロスを起業し、飲食店を予約するためのアプリの開発・運営を行っています。予約数に応じて発展途上国の子どもたちに学校給食が提供される仕組みで、創業時から総数は約67万食を超えています。社会貢献と利益の創造を両立させた活動が様々な国籍の仲間たちから支持され、グローバルな環境で日々働いています。十文字中学校に入学した当初から「自分は誰に対してどんな貢献ができるのだろうか」と考えるようになり、中高ともに中央委員会で委員長を経験し、多くの友人や先生方と関わりました。また、英語に苦手意識があったものの高校1年生の時にアメリカフロリダ州のオランダに留学し、障がい者支援に取り組むNPO法人の活動に触れました。現地では、理想を追い求めるだけではなく、利益がなければ活動が継続できないという現実と直面しました。そこで、社会貢献と利益の創造を両立させる仕組みを自分で作りたいという思いがあふれ、起業する決心をしました。現在はインバウンド需要が急増しており、多くのユーザーに満足して利用していただけるよう海外を飛び回り、様々な国の方と交流を重ねる毎日です。将来的には世界中の旅行者が使えるサービスにするために、ダイバーシティ溢れる従業員と世界展開を頑張りたいと考えています。在校生の皆さんも、勇気を出してどんどん挑戦してみてください。新たな世界が広がるはずです。これまでにない新たなビジネスを創り出すこともできます。皆さんがそれぞれの夢を叶えていけることを願っています。



あたたかい地元巣鴨に 根付き歴史を守り続ける

な によりもりのびのびと学ぶことが出来た学校生活でした。部活動では水泳部に入り、パタフライで豊島区の大会に出場したことも良い思い出として残っています。卒業後は巣鴨信用金庫に勤務し、その後、縁あって「みずの」の主人と結婚してお店を切り盛りすることになりました。主人の姉と母、そして母の姉妹も十文字の卒業生で、まさに十文字ファミリーの素敵な縁を感じています。現在に至るまで、地元巣鴨に根付いた仕事を続ける中で、地域とのあたたかいつながりを感じる毎日です。「みずの」では名物である塩大福を始め、季節に合わせたさまざまな和菓子をお客様にお届けしています。歴史ある味を守り続けることは簡単ではありませんが、皆で協力し合い、試行錯誤を続けています。これからは女性の活躍が求められる時代です。一度しかない学生時代、さまざまなことに興味を持って、仲間たちと共にたくさん学んでください。夢と希望を持って、未来に向かっていって欲しいと願っています。

元祖塩大福
有限会社 みずの
水野 綾さん

中 学生の頃、コロナ禍で医学・薬学に興味を持ち、誰かのためにやりたいと、薬学部への進学が目指せる高校を希望。しかし、当時自信なんてなかった中、十文字高校の学校説明会へ参加しました。生徒のアレゼンを見て「こんな風になりたい!」と強く思ったこと、また女子校という安心感から、3年間自分に向き合えると考え十文字を志望しました。入学後は広報委員として活動し、最終的に私自身が受験生へプレゼンする間にまわることができました。在学中に転機となったのは、高2の時に出場した学内のスピーチコンテストです。自信は全くも「やらなかつたら後悔する」と思いエントリー。ネイティブの先生と練習を重ね出場しました。自身の手ごたえより、同級生や先生方が褒めてくださり、十文字のあたたかさを感じました。その後少しずつ自信が付き、総長に立候補したり、University of Oxfordへ留学をしたり、活動の幅を広げることが楽しいと思うように。受験でつらい時期もありましたが、同級生と動しながら勉強した日々は、私の宝物です。挑戦していることが正しい、選択が自信がなかったとしても、最終的にはその経験の全てが、自分の味方になってくれる。中高生の皆さんには迷っているならやるという意識で挑戦を重ねてほしいです。将来の目標は「誰にでも安心を届けられる薬剤師になること。薬学部で勉強する中で、日本語が得意でない方や、ご年配の方など、薬の飲み方がわからずに困っている方がとても多いことを知り、英語力やコミュニケーション力を高め、薬剤師としての経験を積み、患者さんへよりよい提案ができるように成長していきたいです。

北里大学
薬学部 薬学科
内野 柚花さん

やって後悔することはない! 最後までやり抜くことが 圧倒的な達成感につながる



CROSS × Talk

を公開中!

WEBSITEでは先輩たちの



在校生、卒業生、教職員など縁(ゆかり)ある人々が各々の立場から十文字への想いを語り合う「CROSS Talk」。十文字の魅力やさまざまな角度から読み解けるコンテンツです。